

【大会事務局校挨拶】

第68回全国特別支援学校肢体不自由教育  
教頭研究協議会 鳥取大会 大会事務局校  
鳥取県立皆生養護学校 校長 山田 知子



第68回全国特別支援学校肢体不自由教育教頭研究協議会鳥取大会の開催に当たり、大会事務局校といたしまして一言御挨拶申し上げます。

子どもたちを取り巻くこれからの社会は、少子化・高齢化、グローバル化、デジタル技術の発展等不確実性が高まっており、子どもたちは激しい変化が止まることのない時代を生きることになります。私たちはそうした変化の潮流を的確に捉え、子どもたちにとってよりよい学びの場を提供していく責務を負っています。

本研究協議会においては、「医療的ケア児の防災対策」と題した基調講演をはじめ「学校経営」「教育課程」「医療等との連携」の分科会に分かれ基調報告がされます。喫緊の課題である防災対策、質の高い教育を提供するためのマネジメント力、多様な子どもたちを包摂する柔軟な教育課程の在り方、子どもたちの学びと生活を支える医療等との連携、これらのテーマについて皆様の教育実践につながる新たな知見やヒントを得る貴重な機会となり、全国の副校長・教頭の皆様が日々の実践の中で培われた知恵や課題を共有することで、肢体不自由教育のさらなる発展に繋がるものと期待しています。

最後になりましたが、御多用の中、御講演等をいただきました中村裕子様（鳥取大学医学部 助教）、菅野和彦様（文部科学省初等中等教育局 視学官）、そして、分科会で指導助言をいただきました上灘良祐様（鳥取県立米子養護学校 校長）、山根康代様（畿央大学教育学部 准教授）、植田陽子様（医療法人財団はるたか会 Nurse Fight）へ深く感謝申し上げます。また、大会運営を支えてくださいました皆様、本大会の開催に御支援や御後援をいただきました皆様にお礼を申し上げます。